

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名		市民一人ひとりが共につくるまち		施策番号・名		03 互いに尊重しあえる意識の醸成		基本事業番号・名		03-02 男女共同参画の促進		改革・改善の余地		改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性(所管課長記入欄)			
事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)	対象指標(対象の数値指標化)		活動指標(手段の数値指標化)		成果指標(意図したことの結果の数値指標化)		事業費(実績額)①(千円)	人件費(理論値)②(千円)	トータルコスト①+②(千円)	改革・改善の余地(目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性(所管課長記入欄)			
	事務事業名		指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
03-02-01	生活文化課 男女共同参画係	対象	男女平等推進プランが目指す男女共同参画社会の実現に向けて解決が必要な課題	平成21年度	2	平成21年度	3	平成21年度	1,441	1,260	2,701	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	男女平等推進市民会議 運営事業	手段	改定版男女平等推進プラン後期計画期間の平成20年度事業の進捗状況評価作業を行い、答申を市長に提出した。	平成20年度	1	平成20年度	5	平成20年度	316	473	789	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		意図	課題を明らかにし、解決のための取り組みを進める。	平成19年度	1	平成19年度	5	平成19年度	357	473	830	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	男女共同参画社会基本法の規定に基づき策定した改定版男女平等推進プランは平成22年度で終了するため、次期プランの策定のため市民会議を設置して検討を進めていく。		現状維持	
		対象	東久留米市男女平等推進プランの推進に係る事項、男女共同参画社会の実現のために解決が必要な課題に関する事項	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値
03-02-02	生活文化課 男女共同参画係	対象	固定的な性別役割分担意識により個性や能力を發揮することに制約を受けている市民	平成21年度	116,579	平成21年度	4,000	平成21年度	616	768	1,384	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	男女共同参画啓発事業	手段	公募市民6名による会議を年間11回開催し企画内容を検討、東久留米の男女共同参画情報誌「ときめき」第43号及び第44号を各号4,000部発行した。	平成20年度	116,473	平成20年度	5,000	平成20年度	633	753	1,386	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		意図	固定的な役割分担意識にとらわれないように意識改革が図られる。	平成19年度	116,117	平成19年度	5,000	平成19年度	625	751	1,376	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	情報誌「ときめき」の発行のほか、広報紙・市ホームページを利用し啓発手段を活用していく。		現状維持	
		対象	住民基本台帳人口(外国人登録を含む・1月1日現在)	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値
03-02-03	生活文化課 男女共同参画係	対象	男女平等推進センター	平成21年度	1	平成21年度	308	平成21年度	13,544	1,028	14,572	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	男女平等推進センター 管理事業	手段	年末年始と休館日(毎週火曜日)を除く午前9時～午後9時30分開館し市民の利用に供した。また、男女共同参画推進の拠点施設として男女共同参画に関する啓発活動や取り組みへの支援、講座の実施による学習機会の提供、相談事業の実施などを行った。	平成20年度	1	平成20年度	307	平成20年度	13,543	1,008	14,551	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		意図	市民が施設を有効利用できるように、男女共同参画の総合的な拠点施設としての機能を備えた上で効果的・効率的な運営環境を整える。	平成19年度	1	平成19年度	309	平成19年度	13,333	1,006	14,339	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	施設利用の指標として会議室の稼働率を年次的に追ってみると、開館した16年度に20.7%だったものが約50%まで伸び定着してきている。さらに施設の周知を図り、施設利用者、会議室利用者を増やしていくために、現在の管理状況を維持しく。周知対象として市民団体のみでなく事業所等も視野にいれていく。		現状維持	
		対象	住民基本台帳人口(外国人登録を含む・1月1日現在)	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値
03-02-04	生活文化課 男女共同参画係	対象	性別の違いにかかわらず個性や能力を發揮しようとする市民	平成21年度	116,579	平成21年度	730	平成21年度	1,934	1,028	2,962	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	男女平等推進センター 運営事業	手段	情報及び学習機会の提供、団体及び個人の相互交流の場の提供、相談事業及び施設の提供	平成20年度	116,473	平成20年度	867	平成20年度	1,909	1,008	2,917	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		意図	性別の違いに関わらず等しく個性や能力を發揮できるようにする。	平成19年度	116,117	平成19年度	660	平成19年度	1,677	1,006	2,683	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	男女平等推進プラン後期計画期間(平成18年度～22年度)の重点課題解決のために、男女平等推進センターが取り組み始めた他団体との連携による事業実施の結果が、講座参加者数の伸びにも現れている。22年度以降も引き続き、事業に参画する市民を増やし、課題解決のきっかけづくりを提供する拠点として男女平等推進センターを運営していく必要がある。		現状維持	
		対象	住民基本台帳人口(外国人登録を含む・1月1日現在)	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値
03-02-05	生活文化課 男女共同参画係	対象	配偶者暴力の被害者	平成21年度	116,579	平成21年度	59	平成21年度	560	354	914	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	配偶者暴力被害に対する 支援事業	手段	配偶者暴力被害者支援事業として民間シェルターを対象に「緊急一時保護施設運営費補助金交付」と、避難を理由に定額給付金等を受け取れない被害者に対しての「臨時生活支援金」の支給を行う。	平成20年度		平成20年度		平成20年度			0	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		意図	男女共同参画社会の実現を妨げる配偶者暴力被害者の保護と自立を支援する。	平成19年度		平成19年度		平成19年度				0	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	「臨時生活支援金」は21年度に限定された事業のため縮小となるが、「緊急一時保護施設運営補助事業」は引き続き実施していく。		現状維持
		対象	住民基本台帳人口(外国人登録を含む・1月1日現在)	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値